

農林漁業のうごき

京都府 No.191 令和 4 年



内容

特集 1	令和4年度 農林水産関係当初予算の概要 2～5
特集 2	「京都府府内産木材の利用等の促進に関する条例」が施行されます 6
特集 3	「第6次京都府食の安心・安全行動計画」を策定しました 7
特集 4	「第13次鳥獣保護管理事業計画」・「第二種特定鳥獣管理計画」を策定しました 7
特集 5	「第2次京都府バイオマス活用推進計画」を策定しました 8
特集 6	畜舎建築特例法が施行されます（京都府手数料徴収条例の一部が改正になります） 8
トピックス	第5回京都府食のみらい宣言・実践活動コンクールの実施 / 農業用ため池の廃止工事の取組を紹介 / 令和3年度京都農業経営塾を開催 / スマート農業に関するセミナー・展示会を開催 / 海外オンライン料理教室を開催 / 京都米応援キャンペーンを開催 / 「家畜伝染病発生時における緊急防疫業務に関する協定」を締結 / ナマコの資源管理の研究・取組を紹介 / 風倒木被害に対する取組を紹介 9～11
シリーズ	農林水産技術センターの研究紹介 第15回 畜産センター / 農林センター 12
地域の取組	(京乙) 京都市・乙訓地域生活研究グループの活動報告 (山城) 森林・林業体感ツアーを開催 (南丹) 国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」の佐伯工区が完了 (中丹) 由良川沿いの山家カヌー乗艇場への道路・駐車場が完成 (丹後) 花ひらく！花きの産地化を目指して / 「食の京都」丹後の海の幸と日本酒のペアリングNIGHTを開催 13～15
シリーズ	学び舎へようこそ！ 第2回 京都府立林業大学校 16

特集 1

令和4年度 農林水産関係当初予算の概要

京都府では、最重要課題である、命・暮らし・事業を守る新型コロナウイルス感染症対策のほか、医療・福祉、防災・減災などの安心・安全対策や新年度に合わせた子育て・教育分野の対応など、「京都府総合計画」の継続的かつ計画的な推進のため、年度当初から取り組むことが必要な事業について、骨格的予算として編成し、予算規模は、一般会計で前年度当初予算比0.3%増の約1兆382億円を計上しました。

農林水産分野においても、「京都府農林水産ビジョン」に掲げた5つの「重点戦略」を中心に、新型コロナウイルス感染症による影響を踏まえ、希望と活力に満ちた農林水産業や農山漁村を実現するための取組を計画的かつ総合的に推進する予算として一般会計で約187億円を計上しました。

【戦略1】スマート&コラボで農林水産業の夢と未来を創る

〈①スマート技術の実装による生産現場の抜本強化〉

〈②異業種・異分野とのコラボによる新しい農業ビジネスの創出〉

■集落連携100ha農場づくり事業……………【継続 8,185万円】

メガ団地（100ha農場）を形成する営農モデルを構築して持続可能な地域農業を創出するため、複数集落の組織化や農地管理の分離・委託による規模拡大・収益力向上及び企業との連携による人材確保の取組を支援する。

〈①スマート技術の実装による生産現場の抜本強化〉

■スマート農林水産業加速事業……………【継続 2億925万円】

農林水産業の生産性や品質の向上を図り、府内農林水産業の成長産業化と魅力向上、集落維持を実現するため、AI・ICT等先端技術を活用したスマート技術の実装を加速化する取組を支援する。

〈②異業種・異分野とのコラボによる新しい農業ビジネスの創出〉

■京ものブランド総合戦略事業……………【一部新規 1億6,220万円】

国内外における府内産農林水産物・加工品（京もの）のブランド力を向上して販売力を強化するため、「京都食ビジネスプラットフォーム」の伴走支援等により、新たな「京都プレミアム中食」の開発や「京もの」一体での海外販路拡大等の取組を支援する。

（新規）「京都食ビジネスプラットフォーム」と連携し、「京都プレミアム中食」に京の食文化や健康機能性等の新たな価値を付加した新たな中食の開発等を支援

〈③農林水産業を支える強い基盤づくり〉

■農林水産業基盤整備事業……………【継続 34億5,651万円】

農林水産業のイノベーション実現と安心・安全な地域社会を実現するため、生産基盤の整備や、農山漁村と森林の防災・減災対策を実施する。

■海洋調査船建造費……………【継続 11億1,090万円】

水産制度改革により資源管理の強化が必要となる中、府漁業の経営安定、漁村の活性化に貢献するため、海洋調査船「平安丸（平成9年竣工）」に代わる最新の性能を備えた調査船を建造する。

■京都農業経営強化事業……………【継続 1億568万円】

ブランド京野菜など収益性の高い園芸産地を育成するため、園芸用パイプハウスや生産・出荷調整用機器の整備等を支援する。

【戦略2】「林業の再生」と「防災・減災」の両輪で健全な森林を目指す

〈①京都産木材サプライチェーンの再構築と安定的な経営の実現〉

■林業「森世紀」創造戦略事業(生産体制強化)(豊かな森を育てる府民税活用)……………【継続 7,240万円】

次世代につなぐ森づくりを推進するため、主伐や間伐を促進することにより、安定的な出材量を確保するとともに、再造林への支援を強化する。

(拡充) 高性能林業機械の導入・整備に対する予算増額により支援を強化

■林業「森世紀」創造戦略事業(販路拡大)(豊かな森を育てる府民税活用)……………【継続 1億1,713万円】

府内産木材の競争力強化や需要拡大を推進するため、公共施設や民間施設、住宅における木造化・木質化等の取組を支援する。

(拡充) 府内産木材を利用した木造化・木質化の取組に係る予算増額により支援を強化

■森林経営管理制度市町村支援事業……………【一部新規 4,897万円】

森林経営管理制度^(※)の円滑な運用のため、市町村への技術的支援や職員研修の実施など、市町村が行う取組への支援を強化する。

(新規) ドローンによる航空測量等、先端技術を活用したコスト削減に係る実証及び研修を実施

(※) 森林経営管理制度：市町村が森林を適正に管理するため、林業経営の適否に応じて意欲と能力のある林業経営者に委託又は市町村自ら経営管理を行うもの

■次世代林業を担う林業事業体総合支援事業……………【継続 3億6,987万円】

生産性向上と府内の素材生産量の増加により、林業の成長産業化と適切な森林管理を両立させるため、府内の林業を担う事業体の経営をソフト・ハード両面で総合的に支援する。

■豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業(豊かな森を育てる府民税活用)……………【継続 2億円】

森林の多面的機能を維持・増進するため、市町村が地域の実情に応じて実施する森林の整備や保全等の取組に対して交付金を交付する。

〈②森林災害の防止・低減に向けたハード・ソフト両面からの対策強化〉

■森林災害防止事業(一部再掲)(一部豊かな森を育てる府民税活用)……………【継続 21億8,553万円】

森林が有する災害防止機能を高めて府民の安心・安全を確保するため、間伐や風倒木除去等による森林整備及び土砂や危険木の流出を抑制するための治山施設の設置等を実施する。

【戦略3】「京都らしさ」を生かしたバリューチェーンで国内外への展開を加速する

〈①京都ブランドの世界展開の加速化と国内戦略の再構築〉

■京ものブランド総合戦略事業(再掲)……………【一部新規 1億6,220万円】

国内外における府内産農林水産物・加工品(京もの)のブランド力を向上して、販売力を強化するため、「京都食ビジネスプラットフォーム」の伴走支援等により、新たな「京都プレミアム中食」の開発や「京もの」一体での海外販路拡大等の取組を支援する。

(新規) 有機農業など環境負荷を低減した生産方法等の新たな価値を付加した農産物の産地形成から、加工・流通体系を確立する取組の実証を実施

■「京都ブランド米」新展開事業……………【継続 7,200万円】

京都府オリジナルブランド米「京式部」の新たな市場・販路拡大を展開するため、ブランド化を戦略的に進めるとともに、「京の米」の高品質化を推進する。

■宇治茶ブランド世界発信事業 ……【一部新規 4,400万円】

宇治茶の新たな市場・販路拡大を図るため、輸出に対応した産地の育成や「宇治種」への改植を推進するとともに、宇治茶のプレミアムブランド化や商標対策、さらには「京都府宇治茶普及促進条例」を契機とした茶業振興や世界文化遺産登録に向けた取組を展開する。

(新規) 第76回全国お茶まつり京都大会の開催を支援

■未来へ羽ばたく京都の漁業を育てる事業 ……【継続 1,702万円】

次世代の担い手の育成により漁業・漁村の活性化を図るため、府内産水産物の生産設備の導入や流通拡大への支援を行うとともに、新規就業者のスキルアップ研修等を実施する。

〈②京都ブランドを支える流通の基盤づくり〉

■きょうと「食の安心・安全」確保事業 ……【継続 173万円】

府民の「食」への信頼を確保するため、食の安心・安全行動計画に基づき、食品表示の適正化や「食」に関する情報発信等の取組を強化する。

〈③京の食文化を守り育む食育・地産地消の推進〉

■きょうと食いく先生活動拡大・強化事業 ……【継続 910万円】

地域や府民の食育を推進するため、「きょうと食いく先生」の派遣や地域の食育支援活動、若い世代を対象とした食育出前講座の開催、オンラインによる体験型食育等を実施する。

【戦略4】人づくりの裾野を広げ多様な人材が育む産業・地域を実現する

〈①意欲ある「経営者」を育むオール京都体制と働き方改革の実践〉

■集落連携100ha農場づくり事業(再掲) ……【継続 8,185万円】

メガ団地(100ha農場)を形成する営農モデルを構築して持続可能な地域農業を創出するため、複数集落の組織化や農地管理の分離・委託による規模拡大・収益力向上及び企業との連携による人材確保の取組を支援する。

■京都農人材育成強化事業 ……【継続 4億5,668万円】

高度な経営感覚を持つ農人材の育成により攻めの農業への転換を図るため、オール京都体制で「京都農人材育成センター」を運営し、相談から就農までをワンストップで一貫してサポートするとともに、京の農業応援隊(農業改良普及センターなど)による技術研修等の伴走支援に加え、発展段階に応じた経営研修を一体的に実施する。

■京都畜産未来の担い手づくり事業(一部再掲) ……【継続 411万円】

畜産の担い手が減少する中、後継者の育成を推進するため、畜産経営の法人化を進めることで対外信用力の向上や就業条件の改善を図るとともに、畜産法人等への就業支援や新規就農希望者に対する研修等を実施する。

〈②農林水産業・農山漁村を支える人材の裾野拡大〉

■未来へ羽ばたく京都の漁業を育てる事業(再掲) ……【継続 1,702万円】

次世代の担い手の育成により漁業・漁村の活性化を図るため、府内産水産物の生産設備の導入や流通拡大への支援を行うとともに、新規就業者のスキルアップ研修等を実施する。

■京都モデルフォレスト推進事業 ……【継続 480万円】

府民参画・府民協働による森づくりを推進するため、森林所有者、ボランティア団体、企業等が連携した森林づくりの活動を支援する。

【戦略5】地域住民に寄り添い、強みを磨いて農山漁村（ふるさと）の絆を守る

①持続的で希望と活力に満ちた地域づくり

■「移住するなら京都」推進事業……………【継続 1億5,850万円】

多様なニーズに対応した移住の促進により、地域活性化を推進するため、「京都府移住の促進及び移住者等の活躍の推進に関する条例」に基づき、移住から定住に至るまでの各段階に応じて支援する。

（拡充）移住者が空家を取得等した場合の住宅改修支援に係る予算増額により取組を強化

■農村型小規模多機能自治推進事業……………【継続 6,302万円】

農山漁村コミュニティ（農村型CMO^(※)）の形成により、小規模農家も含めた農山漁村全体を守る活動を強化するため、外部人材の活用等による地域の基盤づくりや、地域資源を活用した「なりわい」づくりから、企業と提携したビジネスへの発展まで一体的に支援する。

（※）農村型CMO：地域活動と収益活動を一体的に運営する農村コミュニティ法人

■有害鳥獣総合対策事業……………【継続 5億5,150万円】

農作物被害対策を推進するため、ニホンジカ等の捕獲強化、捕獲個体の処理施設や防護柵の整備、担い手育成等を支援する。

②京都の独自性や多様性を生かした地域ビジネスの展開

■「食の京都」推進事業……………【継続 1,810万円】

府域共通の観光資源である「食」を目的とした観光誘客を促進するため、「食の京都」をキーワードに地域のいちおし食材を活用した地域の魅力向上や、消費地での認知度向上の取組を支援する。

■「農・観」連携地域コミュニティ応援事業……………【継続 1,900万円】

農山漁村地域への誘客の拡大により、地域振興を図るため、野菜の収穫体験など農山漁村の実りや暮らしを地域資源として磨き上げ、エリア全体を滞在施設化する取組を支援する。

令和3年度 2月補正予算(冒頭提案分)の概要

最重要課題である新型コロナウイルス感染症対策のほか、令和3年12月に発生した雪害からの生産回復に向けた支援を実施するとともに、防災・減災などの安心・安全対策として、公共事業等を国の補正予算も積極的に活用して進めるため、府議会2月定例会で冒頭提案を行い、令和3年度2月補正予算において、一般会計で約465億円を計上しました。このうち、農林水産分野では約48億円を計上しました。

■雪害対策費(農林施設等雪害対策事業)……………【新規 1億2,500万円】

大雪により倒壊等の被害を受けたパイプハウスの撤去・復旧や、茶の樹勢回復、冠雪被害木の伐倒除去・再造林に要する経費を緊急的に支援する。

■農林水産業基盤整備事業……………【継続 47億1,100万円】

農林水産業のイノベーション実現と安心・安全な地域社会を実現するため、生産基盤の整備や、農山漁村と森林の防災・減災対策を実施する。

特集
2

「京都府府内産木材の利用等の促進に関する条例」が施行されます

京都府議会から提案された「京都府府内産木材の利用等の促進に関する条例」が制定され、令和4年4月1日から施行されます。（一部令和4年10月1日から施行）

本条例に基づき、府内産木材の利用等に関する取組を総合的に推進することにより、森林資源の循環利用を進め、林業・木材産業の発展や森林の公益的機能の持続的な発揮、木の文化の継承と快適で癒やしをもたらす府民生活の実現を目指します。

基本理念

- 府内産木材等の経済的価値の向上
- 府民共通の財産として、森林を次代に継承
- 府民等の理解と意識の高揚及び自発的な取組の推進



商業施設における内装の木質化

条例に位置付けられている主な施策

■様々な施策を通じて府民の皆様と一緒に府内産木材の利用を促進してまいります。

<府内産木材の利用促進に関する主な施策>

- 府の公共建築物等の木造化等
- 住宅、商業・観光施設、福祉施設等への木材利用を促進
- 木造建築物の設計・施工に関する事業を行う人材の育成
- 林業及び木材産業等を担う人材の確保・育成や体制整備
- 多様な用途への利用拡大等に資する技術の調査研究や相談体制の整備

など

<推進体制等に関する主な施策>

- 府民会議の設置による府内産木材利用等への気運の醸成
- 木育や情報発信等による普及啓発
- 木材利用等に係る特に優れた取組を行った者の顕彰

など



公共建築物の木造化（京都府茶業研究所）



保育園における内装の木質化

特集
3

「第6次京都府食の安心・安全行動計画」を策定しました

「食」を取り巻く情勢は、食品衛生法や食品表示法等に基づく新たな制度に加え、コロナ禍による生活様式の変化や価値観の多様化に伴い、大きく変化しています。

「第6次京都府食の安心・安全行動計画」（令和4年度～6年度）では、こうした情勢に対応し、府民の食の安心・安全を強化するため、以下の「3つの柱」で取組を推進します。

計画のポイント（3つの柱）

- ①食の安全性確保に向けた行政による監視・検査体制の確保
（例）食品衛生法に基づく食品等の取去検査の実施
- ②食を取り巻く変化に対応する食品関連事業者等の自主的な取組の促進
（例）食品衛生責任者向けのHACCP研修会の開催
- ③府民の食に関する信頼感向上と選択力向上に向けた正確な情報の提供
（例）食の安心・安全ヤングサポーターを養成する取組の推進



食の安心・安全に関するリスクコミュニケーションの様子

京都府 食 行動計画

検索

農政課 食の安全・食育係 TEL：075-414-5654

特集
4

「第13次鳥獣保護管理事業計画」・ 「第二種特定鳥獣管理計画」を策定しました

生物の多様性を維持しつつ、野生鳥獣による生活環境や農林水産業などへの深刻な被害に対処するため、鳥獣保護管理事業計画及び第二種特定鳥獣管理計画を策定し、生息及び被害状況に応じた適正な保護・管理を行ってまいります。

計画のポイント

（第13次鳥獣保護管理事業計画とは・・・）

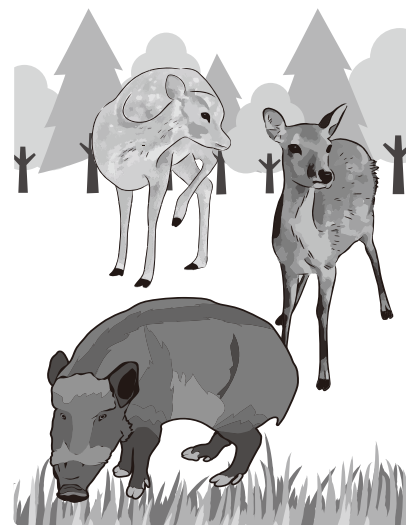
知事が実施する鳥獣保護管理事業についての基本的な方針や取組などを定める5箇年計画

主な内容：鳥獣保護区の設定、鳥獣の捕獲許可、特定鳥獣保護・管理計画、生息状況調査、鳥獣保護管理の実施体制など

（第二種特定鳥獣管理計画とは・・・）

知事が第13次鳥獣保護管理事業計画に基づいて、鳥獣の種類毎に個体管理、被害管理及び生息環境管理における具体的な目標を定める5箇年計画

対象種：ニホンジカ、イノシシ、ツキノワグマ、ニホンザル



農村振興課 野生鳥獣係 TEL：075-414-5029

特集
5

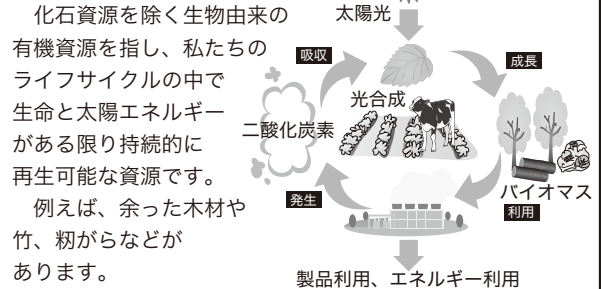
「第2次京都府バイオマス活用推進計画」を策定しました

地球温暖化の防止や持続可能な社会などの実現を目指し、地域のバイオマス活用推進方向を示す「京都府バイオマス活用推進計画」を改定しました。

今回の計画では、利用が進んでいない林地残材や竹などのバイオマスを中心に、現状や課題を改めて分析し、利活用の方法や目標値の再設定などを行いました。

京都府では「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を目指していることから、実現に向けた取組の一つとして、バイオマスの利活用を進めてまいります。

バイオマスってなに？



計画のポイント

- 第1期（平成24年～令和3年）で利用が進んでいないバイオマス（林地残材、竹、下水汚泥等）を重点的に推進
- 目標達成したバイオマスについても、継続して推進することで利用率を維持
- 早生樹などを新たな再生可能エネルギーとして、地域のバイオマス発電施設等に供給する地産地消の取組を推進

農産課 環境にやさしい農業推進係 TEL：075-414-4944

特集
6

畜舎建築特例法が施行されます (京都府手数料徴収条例の一部が改正になります)

令和4年4月1日に施行される畜舎建築特例法は、畜舎の建築コストを下げることを目的としており、法の基準に適合していることを知事が認定した際に、建築基準法の適用を除外することができます。

この法律の施行により、新たに発生する事務（知事の認定）に係る手数料を徴収するため、京都府手数料徴収条例を改正しましたので、お知らせします。



京都府広報監
まゆまる

改正のポイント

畜舎建築特例法による認定を受けた場合、建築基準法に基づく建築確認や完了検査を行う必要がなくなります。

〈新築の畜舎建築時に発生する手数料が減額になります！〉

例えば、肉用牛100頭規模（約900㎡）の畜舎の建築を行った場合、従来より約27万円軽減されます。

〈新たに畜舎の建築をお考えの際は事前にご相談ください。〉

畜産課 畜産振興係 TEL：075-414-4983

トピックス

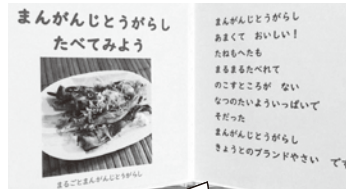
第5回京都府食のみらい宣言・実践活動コンクールを実施しました 国内外への展開の加速

食への関心がより一層高まり、食育の輪が広がることを目的として、「食に関する目標（食のみらい宣言）と実践活動」を募集したところ、174点の応募があり、その中から入賞作品20点を決定しました。

今回、新たにSNS部門を設置したことで、府民の様々な食に関する目標と取組が発信され、多くの方々に共有されました。

入賞作品は京都府HPで紹介していますので、ぜひご覧ください。

SNS部門 最優秀賞
ehon_no_kurihan様



『みらい宣言』
食育と絵本と子どもを繋げ、親子でコミュニケーションを取ることと楽しく食べることの大切さを伝えます。

メール部門 最優秀賞
亀岡市立別院中学校(1~3年生)様



『みらい宣言』
全校農園活動で収穫した餅米や野菜を家庭で調理して食べることで、生命と健康、家族の大切さについて学び、食育の理解を深めます。

京都府 食のみらい宣言

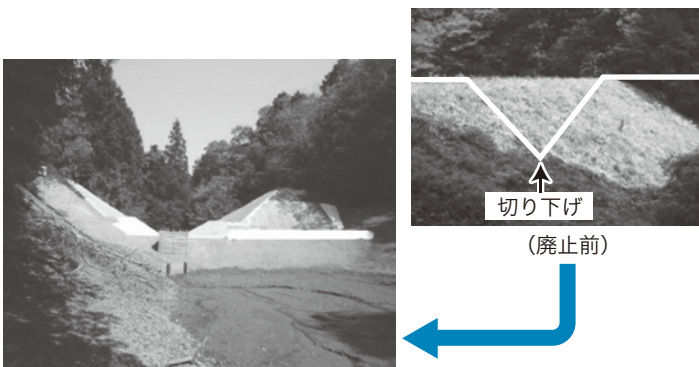
検索



農政課 食の安全・食育係 TEL : 075-414-5654

農業用ため池の廃止工事の取組を紹介します

農山漁村の絆を守る



(廃止後：堤を切り下げることで水が貯まらない)
＜廃止工事の一例＞

全国的に、農業用ため池の多くは江戸時代以前の築造であり、老朽化が進んでいるため、近年、頻発する大規模地震や局地的豪雨による決壊被害の発生が懸念されています。

このため、京都府では、改修工事だけでなく、農業用としての役割を終えた、ため池の廃止工事を支援しており、今年度は、6箇所工事に着手しました。

今後も引き続き、役割を終えたため池の廃止に向けた取組を支援してまいります。

農村振興課 防災減災係 TEL : 075-414-5053

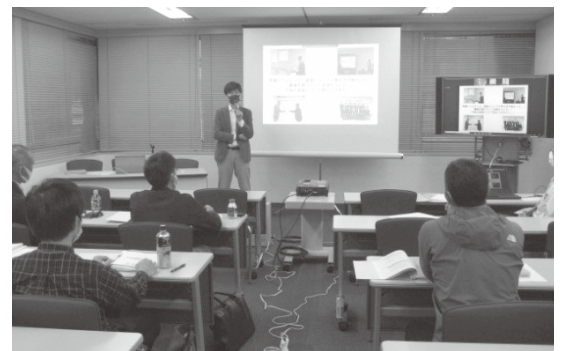
令和3年度京都農業経営塾を開催しました

人づくりの裾野拡大

経営の発展や法人化を目指す農業者を対象に、全国で活躍する農業コンサルタント等から農業経営の考え方を学ぶ「京都農業経営塾」を開催しました。

令和3年10月から令和4年3月にかけて計8回の講座を実施し、参加した9名の塾生からは「自身の経営について徹底的に向き合うことができた」といった感想が聞かれました。

今後も引き続き、農業者の経営力強化に向けた取組を支援してまいります。



第1回オリエンテーションの様子

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成係 TEL : 075-414-4942

トピックス

スマート農業に関するセミナー・展示会を開催しました

スマート&コラボ



スマート機器を展示・紹介する様子

令和4年1月14日（金）に、農林センターで、スマート技術により実現する最先端農業の姿や府内での活用事例を発信するスマート農業セミナー・展示会を開催し、約80名が参加しました。

会場ではスマートグラス（カメラやディスプレイを兼ねたメガネ型の装置）などのスマート機器を展示・紹介し、参加者からは、「活用事例を聞いて、他の品目でも試してみたくなった」「低コスト化を進めてほしい」「農機メーカーとの共同研究を進めてほしい」などの意見が聞かれました。

今後も、各地域の農業者のニーズに合わせたスマート技術の情報発信を進めてまいります。

流通・ブランド戦略課 研究推進係 TEL：075-414-4968

海外オンライン料理教室を開催しました

国内外への展開の加速

令和4年1月27日（木）に、海外での府内産食材の需要を拡大するため、京都市内の料理教室とシンガポール・香港の料理教室をオンラインで結び、京料理人が京野菜や鶏肉等を使った「京のはなやか弁当」を調理する様子を配信しました。

海外スタジオの受講生約80人が、配信の様子を観ながら、事前に届けられた府内産の「えびいも」や「花菜」等の食材を用いて調理しました。

府内産食材をPRする良い機会となったことから、引き続き、こうした取組を実施してまいります。



料理教室の様子

流通・ブランド戦略課 ブランド推進係 TEL：075-414-4941

京都米応援キャンペーンを2月に開催しました

国内外への展開の加速



京都生協でのプレゼントキャンペーン

コロナ禍の影響による米の需要減少に対して、府内での京都米の販売を促進し、消費拡大につなげるため、京都生協において、5kgまたは10kgの京都米を購入した方の中から、抽選で50名に府内産農畜産物が当たるプレゼント企画を実施しました。

また、平和堂（京都エリア）での、会員カードの提示による京都米の特別割引販売に対しても支援を行いました。

今後も、コロナ禍で影響を受けた農畜産物の需要喚起を図る応援企画を進めてまいります。

農産課 京の米・豆・保険係 TEL：075-414-5989

トピックス

「家畜伝染病発生時における緊急防疫業務に関する協定」を締結しました 国内外への展開の加速

万一、府内で高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病が発生した際、迅速かつ的確な防疫業務を実施することを目的として、多様な産業廃棄物等の安心・安全な輸送実績のある公益社団法人京都府産業資源循環協会と「家畜伝染病発生時における緊急防疫業務に関する協定」を締結しました。

今後も家畜伝染病の発生予防対策を第一とし、発生した際には迅速な対応及びまん延防止に努めてまいります。

協定の対象となる防疫業務

- ・ 殺処分された家畜等の運搬用車両、パレット等資機材の調達
- ・ 焼埋却施設への運搬
- ・ 運搬・焼埋却施設処理に必要な人員等の応援 等



協定式の様子(令和4年2月17日)

畜産課 家畜衛生係 TEL：075-414-4985

ナマコの安定した漁獲を目指して ～資源管理の研究・取組を紹介します～ 国内外への展開の加速



宮津湾で漁獲された大型のナマコ

海洋センターでは、漁業者と協力し、ナマコの資源管理（サイズや漁獲量を制限する取組）に取り組んできた結果、宮津湾では、大型のナマコが安定して漁獲されるようになったところでは。

この成果を踏まえ、府内漁獲高の約半分を占める舞鶴湾でも、ナマコの安定した漁獲を目指し、昨年度から資源管理の調査を開始しております。

今後は、漁業者との合意形成を図り、資源管理を着実に実施することで、府の漁業振興につなげてまいります。

海洋センター つくり育てる漁業担当 TEL：0772-25-3080

森林再生を目指して ～風倒木被害に対する取組を紹介します～ 「林業の再生」と「防災・減災」

平成30年の台風21号による強風で、京都市北部の森林で風倒木が発生し、林業のみならず交通網の遮断など府民生活にも被害がおよびました。

そのため、人家裏や鉄道沿いを優先に倒木を除去し、現在、広葉樹の植栽など森林の復旧整備を進めています。

また、倒木の未然防止対策として、鉄道施設管理者と、森林所有者や市が協定を締結し、事前に台風で傾いた危険木の伐採等を行う森林整備の取組を支援しています。



左京区鞍馬本町地区での施工状況

京都林務事務所 林務課・治山課 TEL：075-451-5724

シリーズ 農林水産技術センターの研究紹介

第15回 畜産センター・農林センター

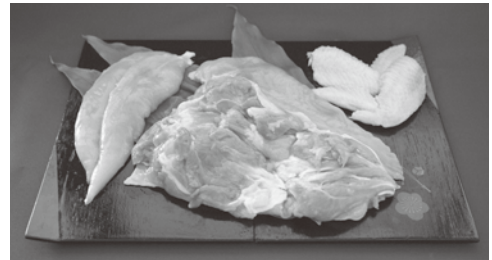
令和3年度に取り組んでいる研究を紹介します。

研究1：リニューアルした「京地どり」のおいしさを調査

平成29年度にリニューアルした「京地どり」は、シャモと横斑^{おっほん}プリマスロックという2つの品種をかけあわせることで、従来より短期間で成長することから、生産・流通拡大が可能となりました。また、府内の消費者の協力を得て実施した嗜好調査では高評価を得ています。

今回、地鶏の魅力のひとつである「食感」について詳細な分析を行ったところ、「京地どり」は市販の若どりより、ジューシーさや歯ごたえに優位性があることが分かりました。

今後は、「味」に関係するアミノ酸などの調査を行い、今回の成果と併せて「京地どり」のおいしさの特徴としてアピールすることで、一層の生産・流通拡大に繋げてまいります。



食味の良い「京地どり」



府内高校の協力のもと実施した嗜好調査

農林水産技術センター 畜産センター 研究・支援部 TEL：0773-47-0301

研究2：丹後地域の加工用キャベツの出荷期間を拡大します

丹後地域の国営開発農地では、カット野菜や外食向けの加工用キャベツの契約栽培が増えており、加工業者からは、従来の6月、11～2月の出荷期間に加えて、10月と5月の出荷も要望を受けているところです。

そのため、丹後農業研究所において定植時期と品種の検討を行ったところ、7月下旬定植・10月上中旬収穫、10月下旬～11月中旬定植・翌年5月中旬～6月上旬収穫の2作型での栽培条件を明らかにするとともに、それぞれに適した品種を選定しました。

今後は、関係機関と連携しながら、これらの栽培方法を農家へ提案し、加工業者や消費者の期待に応えられる産地づくりを支援してまいります。



品種、作期を検討している栽培試験ほ場
(写真左下)選定した5月収穫用の品種

農林水産技術センター 農林センター 丹後農業研究所 TEL：0772-65-2401

地域の取組

京都乙訓

「コロナ禍でもできること」を考える

～京都市・乙訓地域生活研究グループの活動報告～

京都市生活研究グループ連絡協議会では、コロナ禍において、会員同士の交流を図るため、出席者を制限して「おせちレシピ交換会」を開催しました。「たたきごぼう」や「棒だら」といった定番料理のコツについての情報交換や、一部地域で食べられている「^{ふなまめ}鮎豆」といった珍しい料理に驚きの声が上がると、楽しい交流会となりました。

また、乙訓地域生活研究グループ連絡協議会では、グループの活動と地域や各農家に伝わる料理をまとめた「いのちをはぐくむ食卓」と題した冊子を制作されています。さらには、新型コロナウイルス感染症対策に十分に留意しながら、グループでの意見交換や、みそ・しば漬けづくり等による交流活動も行われています。

京都乙訓農業改良普及センターでは、引き続き、こうした活動を支援してまいります。



乙訓地域生活研究グループ連絡協議会



おせちレシピ集

京都乙訓農業改良普及センター TEL : 075-315-2906

山城

森林・林業体感ツアーを開催しています

山城広域振興局では、府民の皆さんに森林の大切さや木材への親しみを感じていただくため、“京都府豊かな緑を育てる府民税”を活用して「森林・林業体感ツアー」を開催しています。

令和3年10月30日(土)には、和束町内で9回目となるツアーを開催し、児童7人を含む18人の参加者が、水源かん養や災害防備、地球温暖化防止など、森林の働きについて説明を受けた後、間伐や苗木の植栽、さらには、スギの木を使った木工体験をしました。

参加した児童からは、「森林の大切な働きや役割がよくわかった」「学校ではできないことが体験できて嬉しかった」、保護者からは、「低学年の子も理解でき、森や木に触れることができる貴重な体験だった」「今回をきっかけに地球の未来を考えられる子に育ててほしい」などの声が寄せられました。

今後も、森林や木材に触れて、その素晴らしさを全身で感じることでできる取組を開催してまいります。



「森林の働き」の説明を聞く様子



ヒノキの間伐体験



苗木の植栽体験



スギの木を使った木工体験

山城広域振興局 農林商工部 森づくり振興課 林業振興係 TEL : 0774-21-3450

南丹

持続的な地域農業の実現に向けて

～国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」の佐伯工区が完了～

平成26年度から、亀岡市内を流れる一級河川桂川右岸の農地444ha（全6工区）を対象に、「亀岡中部地区」の「ほ場整備」を実施しています。そのうち、工事後の農地の所有権等を確定する換地処分を佐伯工区（面積29.6ha、農家81戸）で初めて実施し、農地の貸し借りが出来るようになりました。

これにより、地域の営農組織が中心となって、農地の借り受けを一層進め、稲作の効率化やアスパラガスなどの野菜の生産拡大、直売所設置といった意欲的な取組が可能となります。

今後も、担い手の確保や耕作放棄地のない持続的な地域農業の実現に向けて支援してまいります。

（国営緊急農地再編整備事業とは…）

農地の区画を大きく成形し、農道水路を効果的に配置する「ほ場整備」を行うことで、担い手への農地の利用集積を進め、生産性の向上と耕作放棄地を解消するために実施する農林水産省の事業です。京都府は、同省からの委託を受け、換地事務（所有権等を整理する事務）を行っています。



整備前



整備後

<佐伯工区のほ場>

南丹広域振興局 農林商工部 地域づくり振興課 計画管理係 TEL：0771-22-0286

中丹

由良川沿いの山家カヌー乗艇場への道路・駐車場が完成！

～「農・観」連携地域コミュニティ応援事業の取組を紹介します～

綾部市山家地区では、観光資源の活用による地域活性化に向け、家族連れやカヌー初心者でも由良川下りを楽しむことができる「カヌー・ラフティング体験教室」を実施し、人気を集めています。

これまで、由良川沿いまで車で行ける道路や駐車場が無かったことから、住民組織が中心となり、府の補助事業を活用して整備を行い、令和4年4月から利用できるようになりました。

こうした山家地域の観光資源をはじめ、中丹地域の魅力を発信する取組を、引き続き支援してまいります。

（「農・観」連携地域コミュニティ応援事業とは…）

農山漁村地域の観光コンテンツを磨き上げて広く発信し、観光誘客を拡大するための事業に地域ぐるみで取り組む団体に対して、地域ブランディングのための活動を支援する事業です。



カヌーを楽しむ親子連れ



完成した駐車場と乗艇場への進入路

中丹広域振興局 農林商工部 地域づくり振興課 地域活性化係 TEL：0773-62-2505

丹後

花ひらく！花きの産地化を目指して

～小ギクの生産振興への取組～

丹後管内では、お盆や彼岸の時期に不可欠な「小ギク」の生産振興に取り組んでいます。

丹後農業改良普及センターでは、夜間に光を灯す電照栽培や、特定の薬剤を使用することで、開花時期を調節する技術の導入を進めています。これにより、狙った時期に出荷することや、長期間安定して出荷する生産体制の確立を目指しています。

また、今話題のスマート農業についても実証を開始しており、作業の効率化と省力化を実現することで、さらなる規模拡大や、新規参入者の増加を促し、丹後を花きの産地として位置付けられるように活動を展開してまいります。



電照栽培の普及が進むほ場



ロボットを活用した農薬散布の自動化

丹後広域振興局 農林商工部 丹後農業改良普及センター TEL：0772-62-4308

丹後

「食の京都」丹後の海の幸と日本酒の
ペアリングNIGHTを開催！

令和4年2月25日（金）に、京都信用金庫Questionビルで、丹後産水産物の継続的な利用・流通に繋がるように、久美浜牡蠣、伊根ブリ、アカモクなどの新鮮な海の幸と蔵元自慢の地酒を集めたイベントを開催しました。

生産者等からは、食材の美味しさを直接PRしていただくとともに、参加者23名は自ら調理を行い、丹後産の日本酒とのペアリングを楽しまれました。

丹後産食材への関心が高まり、美味しさを知っていただく機会となったことから、引き続き魅力を発信する取組を支援してまいります。



自ら調理を行う参加者



参加者が調理した牡蠣ご飯やブリの照り焼きなど

丹後広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 総務・野生鳥獣係 TEL：0772-62-4315

シリーズ 学び舎へようこそ！ ～第2回 京都府立林業大学校～

前回に引き続き、京都府の農林水産業の担い手育成の取組についてインタビューを交えて紹介します

◆◆◆林業大学校 創立10周年◆◆◆

京都府立林業大学校は、平成24年に西日本で初の林業専門の学校として京丹波町の地で開校してから、令和4年で創立10周年を迎えます。これまでに卒業した9期151名の方々は、地域の林業を牽引する人材として、京都府内をはじめ、全国の林業現場の最前線で活躍されています。

林業大学校の特長は、現場での即戦力人材を育成するための実習時間の多さが挙げられます。特に、高性能林業機械の操作実習では、「高性能林業機械操作士」（京都府独自資格）の資格取得に向けて、学生が技術習得に励む姿が見られます。

また、京都府立大学との連携により実施する、森林公共政策学の講座は、林業に関わる地域の課題解決に向けた学びの場となっています。

今後は、現場で活用可能なスマート林業などの先端技術に関する講義を積極的に導入するなど、引き続き、即戦力となる人材の育成に取り組んでまいります。



高性能林業機械操作実習の様子



北山杉の枝打ち実習の様子



学生同士の交流イベント
(日本海に向かって2日間のウォーキング)

在校生に「林業大学校の良さ」を聞いてみました

「チェーンソーでの伐木や重機の運転など、卒業までに様々な資格が取得でき、実践的な林業技術を習得できるところが、この学校の一番の魅力」と、多くの学生は話してくれます。

また、「京都という歴史・文化を感じられる土地で、林業従事者の生の声を聞くことができたのは貴重な経験」という意見も多く、森林・林業に係る幅広い知識を習得できるカリキュラムが好評です。

林業振興課 林業経営強化係 TEL：075-414-5018

「府民の森ひよし」と「洛西散策の森」を紹介します！

「府民の森ひよし」（南丹市日吉町）と「洛西散策の森」（京都市西京区）は、森林での様々な活動、体験を通じて自然とふれあう場所となっています。

「府民の森ひよし」では、日帰りバーベキューやキャンプのほか、森林の散策や地元木材を使ったクラフト制作体験が楽しめます。キャンプ場は、全区画で車の横付けが可能であり、電気の使用やペットと宿泊できる場所も設けています。

「洛西散策の森」では、春にはサクラやツツジが所々に咲き、花や景色を楽しみながら、体力に合わせた散策コースを選び、ハイキングを楽しむことができます。また、紹介動画（「『洛西散策の森』ってどんなところ？」）をYouTubeで公開していますので、そちらもどうぞご覧ください。



府民の森ひよしキャンプ場



洛西散策の森
(京見小峠より)

府民の森ひよし/洛西散策の森

検索

森の保全推進課 モデルフォレスト推進係 TEL：075-414-5005

発行/令和4年3月

編集/〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入 京都府農林水産部農政課 TEL：075-414-4946 E-mail：nosei@pref.kyoto.lg.jp

京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか。

公式ホームページ <http://www.jinendo.co.jp/sekaigahitotsunokazoku/>